## 重層的支援体制整備事業における支援の流れ(例)

①認知症で介護が必要な高齢者の世帯で、無職で、引きこもり状態で、精神障害の疑わ れる50歳代の娘と、小中学校は不登校で就職経験もない17歳の孫が同居、孫が高齢者の 世話をし、高齢者の貯蓄や年金やで生活しているが、デイサービスの利用料、税、公共料 金に滞納があり、困窮し始めてきた。地域包括支援センターのケアマネジャーが、訪問時 にそのことを初めて発見し、相談支援包括化推進員に支援のコディネートを依頼した。

訪問

支援

②相談支援包括化推進員は、庁内の関 係課、市内の支援機関の参加による重 層的支援会議を招集し、対象世帯の情 報を共有。メンバー間で支援プラン検討 し、支援策をコーディネートした。

## 1号(包括的)相談支援

- 地域包括支援センター 等
- 福祉事業所での相談支援

4引きこもりがちな50代の娘と、17歳の 孫に対しては、住居にアウトリーチ支援 員が何度も訪問して支援。半年後、娘 は通院開始。その後、地域活動支援セ ンターへ通所。孫は参加支援へ通所。

#### 4号 アウトリーチ等を 通じた継続的支援

- ・アウトリーチ支援員
- 支援プランの作成(6号)



サービス

提供等

福祉事業所・ケアマネ

相談支援包括化推進員

重層的支援会議

③支援プランに沿って、多 機関の専門性や機能を活 かし、連携・協働して支援 を開始。電子@連絡帳で 情報共有。高齢者はデイ サービスに加えホームヘル パーを利用。娘、孫は家計 改善支援と食料支援開始。

## 5号 多機関協働事業

- ・相談支援包括化推進員
- 重層的支援会議
- 支援プランの作成(6号)
- ・電子@連絡帳で情報共有

アウトリーチ 支援員

地域包括支援センター、障がい者基幹支援センター、生活支援センター、 アウトリーチ支援員、庁内(高齢介護課、障がい福祉課、 国保年金課、収 納課、水道課、他)が、連携・協働(チーム)で支援開始

#### 3号 地域づくり

- 共助の基盤づくり (食糧支援)
- ・地域活動支援センター (障がい者)

サービス 利用

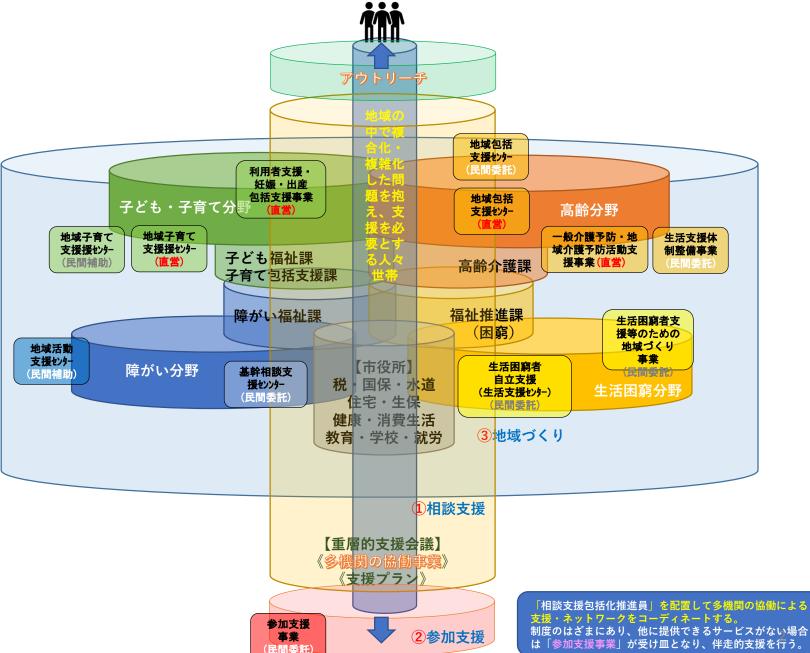
利用

地域資源 の活用も含め支援

- (例)農業収穫体験への参加
- 就労準備支援⇒面接⇒就職

**⑤**社会体験の乏しい17 歳の孫は、収穫体験の プログラムに参加し、対 人恐怖を克服して1年 半後にアルバイト就職。

# 古河市の重層的支援体制整備事業の全体像



制度のはざまにあり、他に提供できるサービスがない場合 は「参加支援事業」が受け皿となり、伴走的支援を行う。